



☆1学年のまとめの時期です☆3学期期末テスト☆

～RPDCA サイクルから考える～

2月13日(火),
2月14日(水)実施です!

下の資料は、福島県教育委員会が発行している「家庭学習スタンダード」の一部です。これまで何度かお伝えしてきた内容ではありますが、期末テストに向けて参考にいただければ幸いです。

学年では、各定期テスト前に「学習計画表」を準備させています。1月30日(火)6校時に、3学期期末テストまでの計画表を作成しました。これまでの学習や生活を振り返り、問題点や課題について考えながら目標や計画を立てました。子ども達は、「前回のテストでは、この部分ができなかった」「テスト当日までの学習時間が足りなかった」「時間を上手に使えず、生活が乱れていた」など、自分の課題がよく見えています。課題を十分に把握した上で計画を立てたのですから、次はいよいよ実行です。しかしながら計画を全て実行するのは難しいものです。私達大人もついつい「勉強したの?」「早く勉強しなさい」「計画したことができていない」と言ってしまうかもしれませんが、「できていないことを見つけて指摘する」だけでなく、「できたことを認めるチャンスを見逃さない」ようにしたいものです。ご家庭でも、学習の様子を見守っていただき、「認めるチャンス」を見つけてほしいと思います。

学校で取り組ませたのは、この部分です。

いよいよ計画を実践です！家庭での取り組みはいかがでしょうか？

実際にどうだったのか、振り返りが大切です。

計画を実行！FIGHT！！

学校の取組

- 家庭での学習や生活の問題点、課題などに気付かせる機会を設ける。
- 学習や生活の振り返りができるチェックシートなどを活用し、自己診断できるようにする。など

- 学習や生活の目標、計画を立てる機会を設ける。
- 目標のポイントを掲示するなど、常に意識するよう促す。など

- 一定期間の実施状況を記録できる「計画実施表」などを準備する。
- 毎日、実行状況のコメントを書くよう促す。など

- これまでの学習を振り返り、成果と課題を明らかにする機会を設ける。
- 成果を上げた取組を確認したり、課題を分析したりするよう促す。など

- 改善のための目標を明確にする機会を設ける。
- 新たな目標を基にした計画を確認し、励ます。など

期待する子どもの姿

Research 自分を知る

自分の課題を客観的にとらえる。

Plan 計画する

自分の課題にそった目標や計画を立てる。

Do 自ら学習する

計画にそって主体的に学習する。

Check 確かめる

学習の結果や取組を振り返り、確かめる。

Action 見直す

学習の内容・方法を見直し、修正する。

学習時間が少したりない。(学習時間)

漢字や計算は得意だけれど、文章問題が苦手だ。(学習内容)

自主学習ノートを1日1ページやっているけれど、なかなか成果が出ない。(学習方法)

説明文を書く学習を取り入れてみよう。(生活)

毎日〇〇分学習するぞ。

毎日、文章問題に挑戦するぞ。

今日は、〇〇についての説明文を書くぞ。

部活動で疲れたけれど、頑張って学習するぞ。

さあ、学習の時間だ。今日も、〇〇分頑張るぞ。

計画実施表に、「文章問題が思った以上にできた」と書こう。

学習内容が難しくなってきた。〇〇分では終わらない日が多かったな。

説明文を書くとき、内容が分かるようになるな。

やっぱり夕食前に少しでも学習すると、気持ちに余裕が出るな。

自主学習の時間を、平日は〇〇分、休日は〇〇分増やしてみよう。

もっと難しい問題にも挑戦してみよう。

これからも続けていこう。

夕食前に、読書をしてみるのもよいか。



期末テストの計画中です！

※ 福島県教育委員会 「家庭学習スタンダード」 から引用
 ☆第39週 2月5日(月)～2月9日(金)の予定☆

	2/5(月)	2/6(火)	2/7(水)	2/8(木)	2/9(金)
1	月1	火1	水1	木1	火1
2	月2	火2	水2	木2	火2
3	月5	火3	水3	木3	火3
4	月6	火4	水4	木4	火5
5	月3	火5	水5	木5	火6
6	月4	火6	金5	木6	
その他	普通時程 給食○ 普通清掃 部活○ ・箏授業 ・県立高校入試出願開始	普通時程 給食○ 簡単清掃 部活○ ・SC	普通時程 給食○ 普通清掃 部活○	普通時程 給食○ 普通清掃 部活○ ・SSW	普通時程 給食○ 普通清掃 部活× ・テスト前部活動中止 ～2/13まで
	17:45 下校(全学年)	17:45 下校(全学年)	17:45 下校(全学年)	17:45 下校(全学年)	14:50 下校(全学年)



図や表(グラフ)を見て理解すること

論理的に(筋道を立てて)考えること

長い文章を読んで理解すること

自分の考えを文章にまとめること

「東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2022年」の調査データによると、「小中学生では、本を多く読んでいる子どもほど、理解・思考・表現(上記の4つ)が得意」との結果が出ています。本校でも毎朝15分間、読書の時間を設けています。1週間(15分×5日間)で1時間15分の読書を行っていることになります。学年としても、静かに集中できる環境を提供しながら、読書に親しませたいと思います。

☆2月からは17:45下校です☆送迎等の目安として、お子さんと確認をお願いします☆